

声

情報交換で話された話題を、以下に紹介します。

・進行

現在、気持ちの良いあいさつができていないか聞きたい。

・入谷駐在所長

登下校の際は、入谷小のあいさつはよいです。

・人権擁護委員

知っている子供はあいさつをするが、知らない大人にはあいさつをしなくなった。

・教頭

家庭での様子を聞きたいのですが。

・1学年委員長

家の中では、大きな声であいさつを行うが、家の外では恥ずかしさもあるのか声が小さい。

・PTA会長

子供も中学生位になるとあいさつの声が小さくなる。

・民生委員

会長さんの家のお子さんは大きな声であいさつをしています。近くの子供たちもあいさつをしています

・主任児童委員

近くの子供たちに話しかけるが、最近の傾向で知らない人には反応しない。

話合いでは、上記のような声が聞こえました。防犯の観点から「知らない人には、ついていけない。」などのことを子供たちに話していることが少なからず影響しているものと思われます。地域の中でのコミュニケーションが課題となっているのでしょうか？

いじめのない学校を目指し

人権擁護委員
佐々木房江様民政委員
佐藤とし子様主任児童委員
沼倉善子様入谷駐在所長
鈴木弘樹様PTA会長
山内 巧様1学年委員長
菅原恵理子様3学年委員長
阿部留美子様

普段からの声掛けを…

1月21日(木)午後3時30分よりランチルームにおいて、「第1回いじめ未然防止対策委員会」が行われました。会議には、南三陸警察署、主任児童委員、民生委員、人権擁護委員、PTA本部役員、各学年委員長に出席していただきました。例年2回の開催でしたが感染症拡大防止の措置等の影響により今年度は、1回の会議となりました。7月と11月に行った2回の児童と保護者アンケート結果を基に入谷小学校の「いじめ」に対する取組や対応について知っていただき、集まっていた皆様に御意見や御助言をいただきました。また、地域の皆さんに参加いただいたことで、入谷小学校に関する情報等が交換できました。普段から「元氣な挨拶」を交わすことが大切であり、地域の皆さんと声を掛け合い関わることは地域を明るくする源になると感じました。さらに、入谷小学校の子供たちが地域の皆さんに元気を届けられるように「いじめのない学校」を目指します。



メモを取りながら熱心にお話を聞いています。



AEDの使い方の説明をしています。

また、実技訓練で行った1分間の心臓マッサージは、大人でもすごく大変です。しかし、救急時には、救急隊が来るまで絶え間なく続けなければなりません。救える「命」を何とか助けたいという気持ちが高められた講習会でした。

●心臓マッサージやAEDの方法を覚えて、もし、誰かが倒れていたら今日教わったことをしっかりと実践できるようにしたい。



写真右から須藤署員、及川署員、芳賀署員、小野寺署員、阿部署員、木血署員の6名が来校しました。



CPRキットによる心臓マッサージ

●(全国の)学校では、一年に100人もの人が心臓疾患で亡くなっているとき、驚きました。僕たちがその時その人にどう対応できるかに、人の「命」がかかっているなら、どうにか助けたいです。

いざという時に勇気を…
1月21日(木)午前9時30分より体育館で、少年消防クラブ活動の1環として「救急講習会」が開かれました。毎年、5・6年生の児童を対象として行われ今年度で4回目を数えています。南三陸消防署から須藤署員を始めとして6名の署員の方にお越しいただき、動画や画像で子供たちにも分かりやすく「救命の大切さ」を教えていただきました。署員の方からは、「熱心にメモを取る児童や積極的に質問してくれた児童もいて関心をもって取り組んでいたが期待しております。」との言葉をいただきました。

素敵な作品につなげよう

1月20日(水)3校時から4年生が、総合的な学習の時間で行っている養蚕体験で「繭染め」を行いました。ゲストティーチャー(外部講師)として、田中定子様に来校して教えていただきました。4年生は、夏から育ててきた繭からサナギを取り出す作業を行いました。その後、繭が染め液によって様々な色に変わるのを見て、次に行く繭細工のアイデアを思い描いているようでした。田中様には、次の繭細工が素敵な作品になるようアドバイスをいただきました。



田中定子 様



第26号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部



ホームページ
へのQRコード